

Shito Angelus Aurora

愚者の章

4

酒場であなたを
見ておりました

いやはや、
お強い。

さすが
常に危険がつきま
とう道に生きてお
るがゆえついた
実力か…

はたまた生来^{せいらい}
もっているもの
なのか…。

この私も
世界を巡り回る
仕事をしているゆえ
ご教授^{きょうじゆたまわ}賜りたいたです
なあ。

いかがですか、
旅のお方…



話し相手を
さがしているの
なら、

あいにくこちらには
先客がいるのでね



あらかじめ断って
おきますが、私共は
「ビジネス」を提供
したまてです

少ない労力で、
多くの利益を得るこ
とができる、
お互いにメリットの
あるビジネスです

そして
それを選んだのは
彼らなのです

そもそも 私も
あなたもこの村の
部外者ではないです
か

あまり彼らの事
情に足を踏み入
れない方がいい
のでは…?

人魚を見たと言う
少年が何だという
のでしよう?

子供
というのは環境
の変化を受け入
れられず、つい
抵抗してしまう
もの。

たかが
子供ひとりの戯言に
ひっぱられ幸福を
手放すなど愚の骨頂
…

失礼

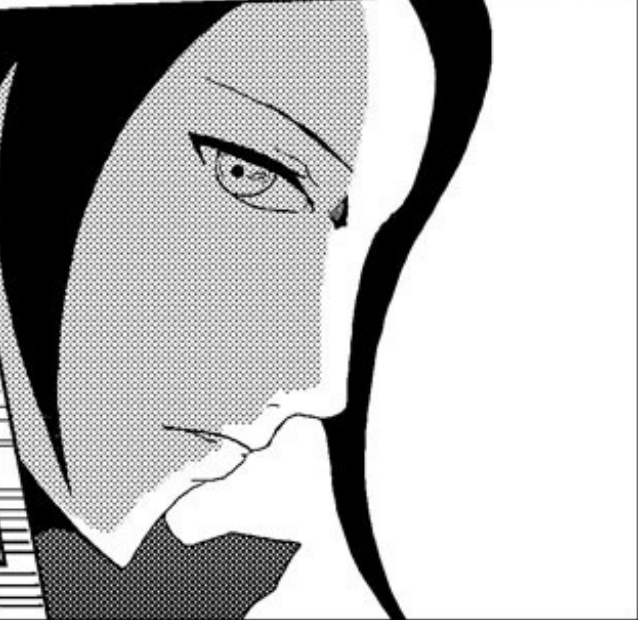


このまま
ですと……

カッ

「両方」

敵にまわす
ことになりま
すよ……?

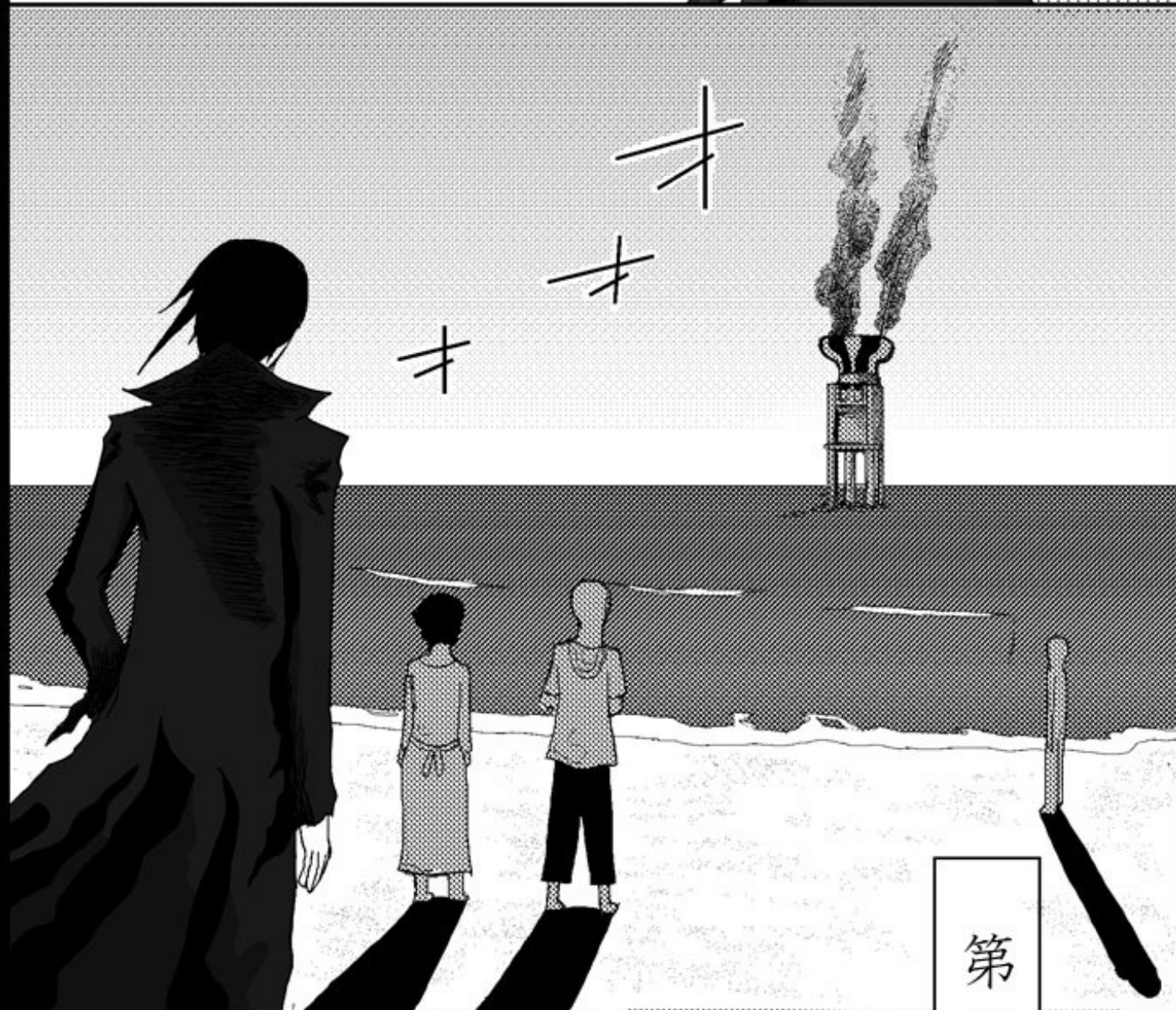


カイがシゲンを掘る
採掘場に言ったらしいぞ

あそこは関係者
以外行っちゃだめ
なんだろ？

まあ
少し絞られた方が
いいんじゃないか？

これにこりて
人魚なんて言ったらな
いだろ



第四節





早くどっか行けよ!
元イワシ漁師のヤン!



ありやだめだ:
しばらくここで休憩し
つづけそうだあ:



スー

ズッ



ゴッ

オ

キ



あー
もう少しなのに
腰くだけたー:

ズッ

.....
!



山の向こうが見える
…まるで空に浮かんで
るみたいだ…

あんな風になつて
るなんて知らなかつたな…

これだけは…
少し良かったかな…

…っと
そんなこと考
えてる場合じゃ
ない！

あの時、俺の前に現れ
た人魚は、なぜかこの
資源を掘る工場に向か
って行って見えなくな
った…

もしかしたら
人魚はここで待っている
かもしれない…



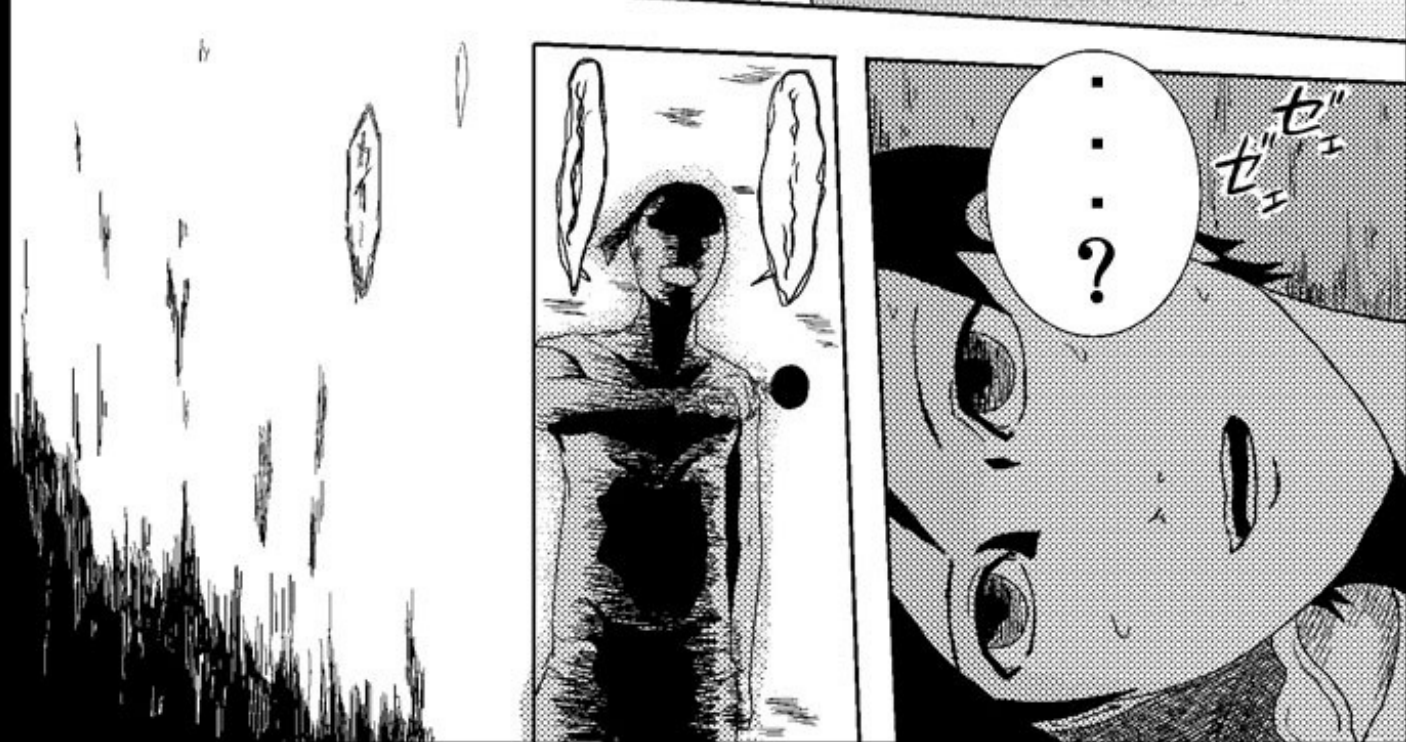


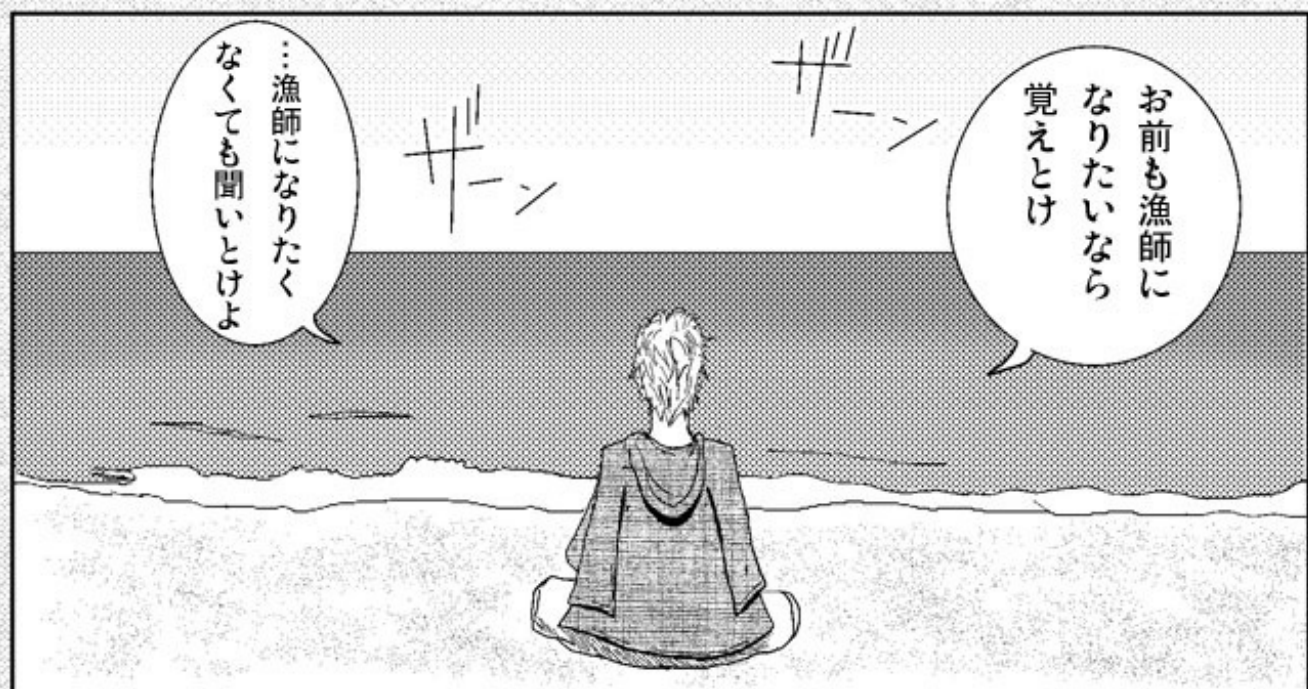
おこめ
こめて
おこめ
でえん
だ何？



カイよお







お前も漁師に
なりたいなら
覚えとけ

…漁師になりたく
なくても聞いとけよ



お前ともいつまで
いられるかも
分からん…



漁師は漁に出るなら、
命を懸けて出る
それが漁師だ

まあ 危険な仕事
ってことだ

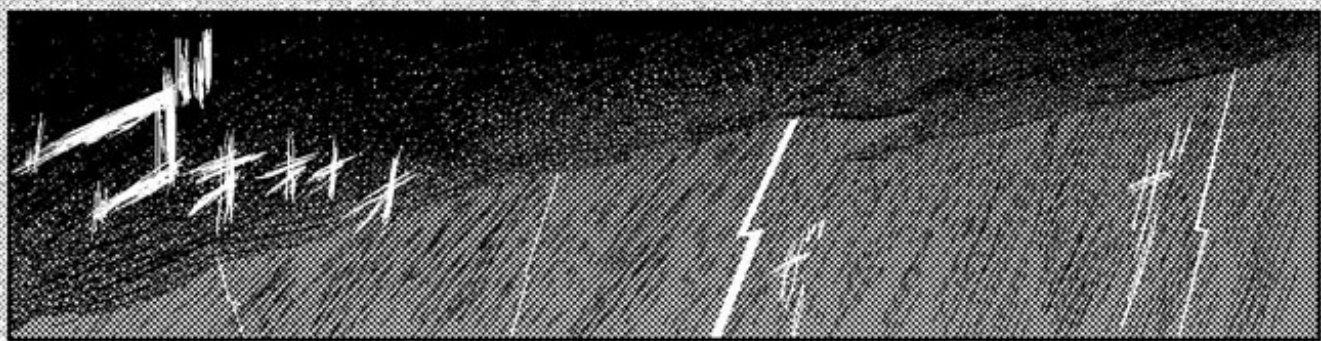


何より、
お前達のためだからな



だが構わん

人はいつか死ぬもんだ
海に出た以上は、
あとは海神様に任せるさ



ついさっきまで雨の気配さ
えなかったのに、何だこの
けた外れの嵐は！

大変だ！
カツとイミナがまだ海に…！

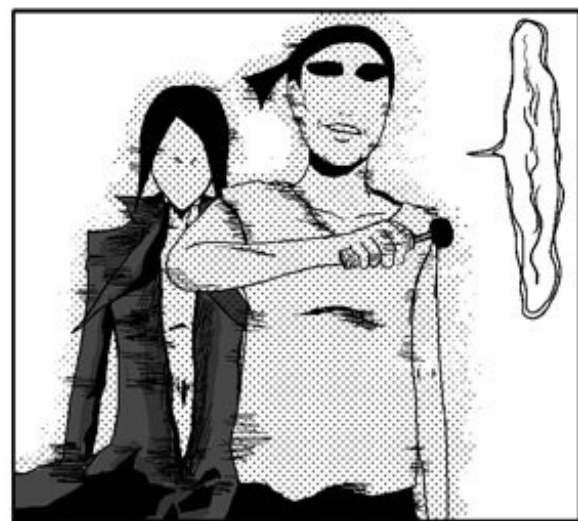
カイもまだ小さいのに
一度に両親を失うなん
て…



こんなむごい事が…



しはらくは
わしの家に留まりな
さい



あんたは…



人…魚…?

村のためだ
悪く思っ
なよ…

誰だ
そいつは!?

お、お
いっ!

じゃ…

ああん?

「じ…じ…じ…は…」

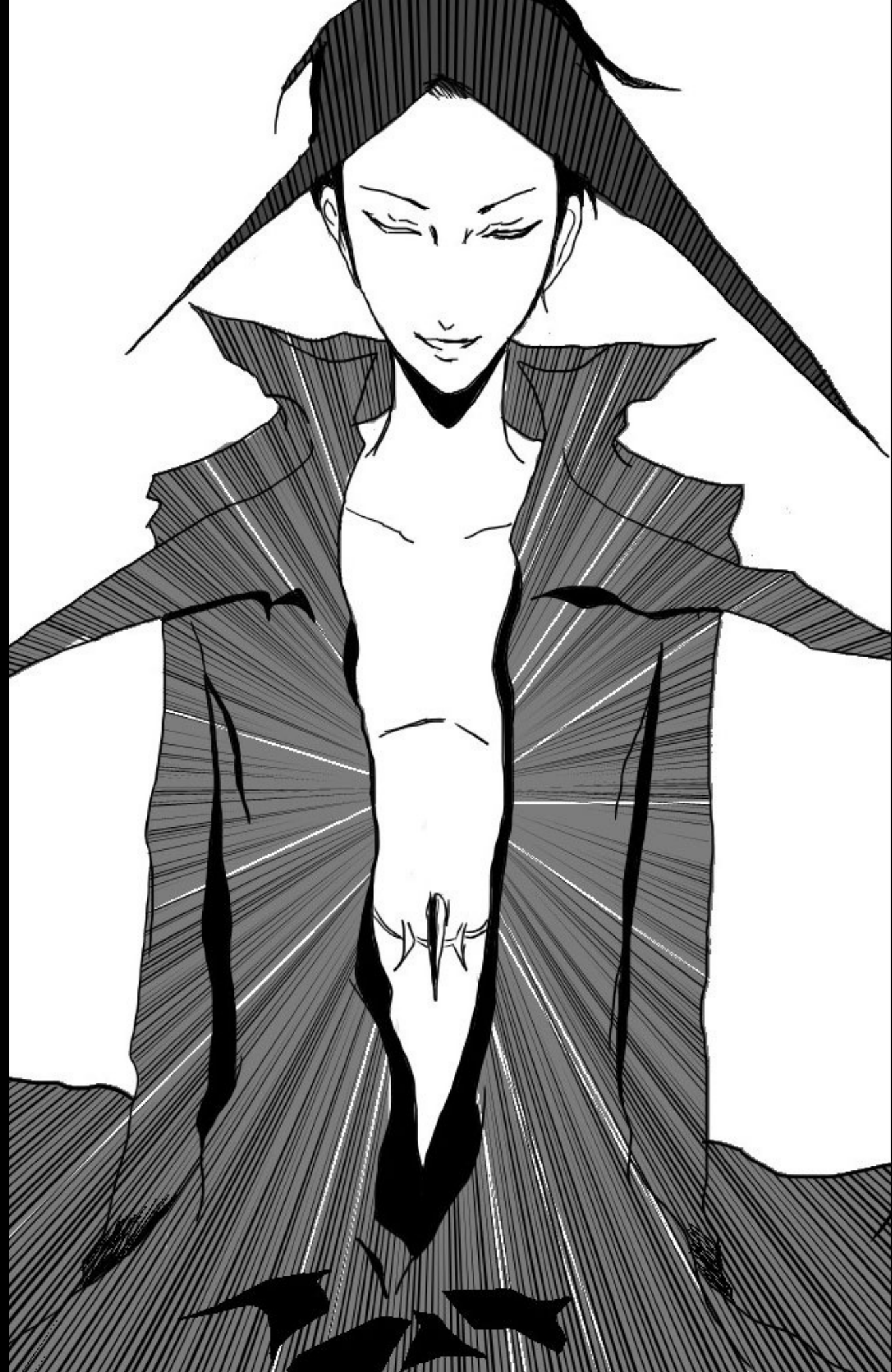
こいつだっ!

この野郎が
俺が話した
通りすがりの
旅の男だ!!

多くの旅人に
共通するもの
は…

何だと思っつ?



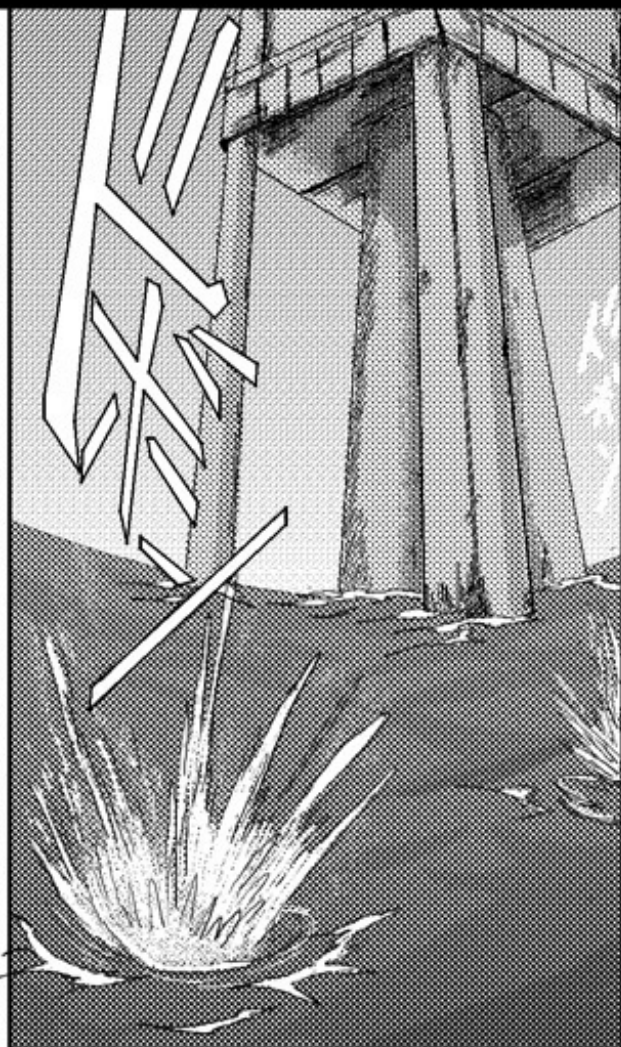




うっ…
痛っ…



彼らは元漁師だ
海に落ちても心配
ないだろう



使徒。

あんな…
一体
何者なんだ
…？

